



# 夢協だより



発行：夢ある稲生まちづくり協議会 電話386-0059

## 令和4年10月23日(日) 稲生地区防災訓練 (鈴鹿市総合防災訓練)を稲生小学校で開催しました！

今年度の防災訓練は、鈴鹿市が行う総合防災訓練と連携し、各自治会で避難地訓練の後、**避難所の開設訓練**や**避難所の運営訓練**を行いました。

それぞれの訓練には、防災倉庫に備蓄されている**オリーブボックス(手順書・資機材を収納)**を用いて行う初めての訓練でしたが、事前の説明会や学習で無事に訓練を終えることが出来ました。

なお、今回の訓練で分かった課題や問題点に関しては、手順書の改訂を行い、来年度の訓練に繋げてゆきます。

稲生地区自主防災委員会 委員長 伊達伸治

**<オリーブボックスを開けて、手順の確認と説明>**

**<防災委員による体育館での訓練活動写真>**



このオリーブボックスの中に手順書・資機材が収納されています

**<一般参加者は屋外の啓発ブースで体験学習>**



# 「わたしたちの住む町 稲生」絵画・作文コンクール

稲生地区青少年育成町民会議

たくさんご応募いただき、ありがとうございました。町の様子や自分の体験、稲生のイメージなど様々な視点で表現していただき、うれしく思いました。

紙面の都合上、10/20号で絵画入賞者のご紹介、今回は作文入賞者の作品ご紹介とさせていただきます。

## 《作文の部》

### 「わたしの住む町 稲生」 稲生小3年A組 磯谷 美空

わたしのお父さんは、消防団員です。稲生消防団に入って18年です。朝でも夜でもお休みの日でも、火事や台風で連絡があれば、すぐに行きます。ねていても、ごはんを食べていても、好きなテレビを見ていても、呼び出されるとすぐに用意をして飛び出して行きます。わたしがねている間や大雨の日に出動していたことも何度もありました。今年のおぼんは、ばあばのおうちにみんなで出かけようとしていたときに呼ばれました。

お父さんは昼間はちがう仕事をしています。仕事だけでも大変そうなのに、消防団をやめずに続けています。

なんでがんばるのかなと思って聞いてみました。そしたら、「みんなを助けるため、稲生を守るため」と言っていました。お父さんはかんたんに言うけれど、それはすごいなと思います。

台風はさけることはむずかしいけど、火事はへらすことができますと思います。火を使っている時は目をはなさないこと、子どもだけで火遊びをしないこと、学校のひなんくんれんをまじめにしたり、地域の防災訓練に参加することも、大きな火事をへらしていくことにつながると思います。

わたしは稲生が大事です。友だちや家そくが住む稲生をこれからも大切にしていきたいです。

### 「大好きな神社」 稲生小3年A組 鈴木 柊郁

わたしには、いつもさんぼしている神社があります。それは伊奈富神社です。

池があり。かめがいます。よく晴れた日は、20ぴきか30ぴきいます。暗いときには、5、6ぴきいます。七島池といいます。七島には、七島の七ふしぎがあります。

① 七島の水で、いぼを洗うと落ちる。② しおの満ち引きがある。③ 松の木が1本もない

④ 鳥が止まらない。⑤ 池は、いつもにごっている。⑥ かえるが住まない。⑦ 魚は片目である。

おもしろいと思ったところは、⑦の「魚は片目である」です。なぜ片目であるのかは知りません。

春には、つつじまつりがあります。昔は、子どもみこしをやりました。今はやれませんが、またやりたいです。

夏には7月14日に「天王さん」があります。その時は、子どもちょうちんを持っておまいりをして楽しかったです。花火もしました。とちゅうで雨が降り、中止になりました。子どもあんどんを見に行きました。わたしが書いた絵を家族と行き楽しかったです。

鳥居の近くに太鼓橋があります。丸くなって、人によっては登れる人と登れない人がいます。自分がかんたんすぎて、楽々で運動にもなります。大きな行事があると、板をおいてみんな渡りやすくなります。

わたしは伊奈富神社が大好きです。これからもさんぼに行き、かめをながめたいです。

### 「稲生っていいな」 稲生小3年C組 浦嶋 竜ノ介

稲生の町は、田んぼや緑があって、自然がたくさんです。あと、古い地区と新しい地区が混じっている町だと思います。古い地区には、稲生の歴史に残っている神社やお寺があったり、細い道で家がたくさん建っていて、急な坂道もあって、めいろの様な感じがします。ぼくは新しい地区に住んでいるけど、古い地区も好きです。

なぜかという、江戸屋があるからです。江戸屋には、スーパーに売っていないお菓子があるからです。当たり付きのお菓子は、当たりが出るかどうか、とてもわくわくします。お父さんやお母さんの子どものころは、江戸屋みたいなお菓子屋が、いっぱいあったみたいだけど、今はあまりないから、稲生にあってうれしいです。休みの日には、お父さんやお母さんやお兄ちゃんとぼくで、自転車に乗って江戸屋まで行くのも楽しみです。

あと、稲生がいいなと思う所は、大人の人がかやさいいことです。ぼくがもっと小さいころ、信号で困っていた時に、おばあさんが「大丈夫？」と声をかけてくれて、ぶじに渡ることができました。毎朝、ファミマの前は車も自転車も登校する子どもも多いから、かなり混んでいます。でも、ボランティアの人や当番の人が旗を持って、安全にぼくたちが横断歩道を渡れるようにしてくれています。その時、笑顔で元気よくあいさつもしてくれるのも、とてもいい気持ちになります。

ぼくは、そんな明るくて楽しい稲生の町が大好きです。ボランティアや当番の人たちが頑張ってくれているから、ぼくも稲生の町のために役立つことをしたいと思います。

### 「紫つつじについて」 稲生小4年A組 樋口 瑠莉杷

今年の3月に伊奈富神社に行って、紫つつじの種を取るお手伝いに行きました。綿みたいなのを細かくほどこきました。粉みたいに小さい種をやわらかい土の上にふりかけました。

綿みたいなのをほどくのが、とても時間がかかりました。おじさん、おばさんたちが、その間に土とかいろいろな準備をしてくれました。種が細かいから、飛ばないように、きりふきでやわらかく水をふきかけました。きりふきをするのが、楽しかったです。あいているいろんな場所にも、残った種をまいて、きりふきをしました。あとは、伊奈富神社の横において、成長するまで待ちました。なんとか、芽が出てくれたらいいです。

6月くらいに、芽が少し出てきました。芽が出るか不安だったのでよかったです。紫つつじのお花は、成長するのが1年で少ししかのびないので、次に紫つつじを見に行く時は、大きくなっているとうれしいです。

弟と神様が通る橋で遊びました。楽しかったです。

紫つつじのお花が咲く4月ごろ、また見に行きたいと思います。紫つつじの種は、細かくいっぱいあってびっくりしました。ボランティアの人がいっぱい来て、私たち家族もがんばりました。紫つつじの種をとることから手伝ってみて、初めてだったので楽しかったです。私たちが植えた紫つつじが、少しでも大きくなってくれるのを楽しみにしています。

## 助け愛♥ネット活動車両が納車されました！

今年度夢協総会でご承認いただいた、助け愛ネット活動車両が納車され、伊奈富神社で安全祈願を行い助け愛ネット活動を開始しました。

### 【メーカーによる支援者への取り扱い講習会】



### 【伊奈富神社で安全祈願】



### 第17回夢協子ども食堂（稲乃屋）のご案内

開催日時：12月18日（日）11時～12時30分

場所：塩屋大山 本照寺 申込受付 12月1日9時より

夢協事務局携帯 090-1643-5900

先着約70名 大人300円、中学生以下無料

メニュー：鶏照り焼き、豚汁、ケーキ クリスマス企画を予定しています！

※アレルギー対応はしておりません。ご了承ください。

※コロナウイルスの状況で中止する場合がありますのでご了承ください。

稲乃屋に  
行こや！



